

2020年6月11日

対面授業における感染防止対策について

体育学部学生各位

大阪体育大学新型コロナウイルス（COVID-19）対策本部

6月19日（金）からの対面授業における感染防止対策を以下に示しました。

体調チェック

以下の1)～5)の症状のうち一つでも当てはまる場合には授業に出席しないでください。

- 1) 平熱を超える発熱（37.5℃以上）
- 2) 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
- 3) だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
- 4) 嗅覚や味覚の異常
- 5) 体が重く感じる、疲れやすい等

体育学部における感染防止対策

講義科目

- 1) 受講生の座席についてはすべての授業で左右1席ずつ開け、教卓と最前列の間隔が狭い教室では、最前列を一席空けて座席表を作っています。指定された席に必ず座ってください。
- 2) 講義の受講にあたってはマスクかそれに代わるものを必ず着用してください。マスクが無い場合は、浪商総合サービスでも購入できます。教員もマスクをします（透明のフェイスシールドを着用する場合があります）。
- 3) 教室の窓を開けて換気をしながら授業をします。L号館の教室では廊下の窓を開け、入り口を開放します。寒暖に対応できる服装で受講するようにお願いします。
- 4) 受講生同士のディスカッションやグループワーク方式の授業は当面行いません。受講生同士の会話はしないでください。
- 5) 教室に入る前に、必ず入り口の消毒液で手指の消毒をしてください。教室の机と椅子の

消毒には、除菌用ウェットティッシュとゴミ袋を用意します。気になる学生は着席前にウェットティッシュで除菌して、指定ゴミ袋に捨ててください。

6) 授業終了時に一斉に出口に移動すると出口が密集します。教員の指示に従って、出口で密集が起こらないように注意してください。また授業終了後も引き続き「3密」を作らないようにしてください。

7) 除菌の作業や、学生の移動時の密集を避ける等の観点から、授業時間の調整をすることがあります。

8) 荷物は床に置かず、一席空けている椅子の上に置くようにしてください。

9) 感染リスクを避けるために、対面授業開始後も遠隔で授業を受けたいと考える場合は6月4日(木)16:00までに、教学部教務担当に申し出てください。なお、講義科目を遠隔授業で受講する場合は、原則として実技科目も遠隔授業を受講することになります。

10) 対面授業開始後も引き続き遠隔で実施する授業があることをご了承ください。その場合、学内で受講する教室を指定することがあります。

11) 対面授業の開始後も遠隔で授業を受講する学生のうち、6月19日以降のクラブ活動に参加を希望する人は、クラブの指導者に相談してください

実技科目

1) 授業前、授業後の手洗いについて

対面授業での実技科目を受ける前には必ず手洗い、手指消毒を徹底してください。体育館の入り口等にアルコール消毒液を設置してあります。

2) 授業前の器具、道具、ボール等の消毒について

授業で使用する器具、道具、ボール等は授業前に消毒します。なお、皆さんに消毒のお手伝いをお願いする場合がありますので、よろしくお願いします。

3) マスク着用について

教員はマスクを着用することを原則としています。皆さんにはマスクの着用は強制しません。運動時の心拍数や体温の上昇によりマスクを着用することの危険性が指摘されているからです。マスクを着用するかどうかは皆さん自身の判断としますが、実技の授業中にも、

2mのソーシャルディスタンスを保つようにしてください。マスクを外しているときは、会話はしないようにしてください。

4) 体育館の換気について

授業の開始までに体育館の出入り口、窓（1階、2階）を開放して空気の流れを良くすることにしています。

5) 授業開始、授業終了時の集合、整列について

集合、整列では密集、密接の状態とならないように左右、前後2mの間隔を空けることを原則とします。皆さんもソーシャルディスタンスを確保するように気を付けてください。

6) 出席確認の方法

密集、密接の状態とならないように配慮して行いますので、教員の指示に従ってください。

7) 更衣室での密集、密接を避ける工夫について

更衣室内の空気の流れについて確認し、さらに換気を良くするために大型扇風機を設置しています。扉のある更衣室にはカーテンを設置しています。換気を良くするために扉は開けたままで利用してください。出来るだけ密集、密接の状態にならないように、教員が少人数ずつ順番に更衣するなどの指示をすることもあります。更衣が済んだ学生は直ちに退室してください。更衣室の利用時にはマスクを着用してください。

8) 実技内容及び授業方法について

「3密」とならないように授業内容や授業方法を工夫して行います。以下は工夫の例です。

バレーボール授業の第一段階では、各自のボール（消毒済み）を決めて、1人でできる練習（直上系パス、壁利用パス）や2人でのドリル練習を、指定されたエリア内（小人数での活動）で実施するように計画されています。

バスケットボールでは、学生と学生が近い位置で接触するようなプレーを避けて、個人技術（パス、シュート、ドリブル）を中心とした内容で計画されています。

ラグビーでは、身体接触を伴うプレー（スクラム、ラック、モールなど）を除外して計画されています。

水泳では、授業時間帯を2つに分けて、更衣室やプールに入る人数を少なくして、感染リスクをコントロールするように計画されています。

剣道では、防具（剣道具）を使用しないで、小手に代わる手袋を受講生全員に配布して、素振りを中心とした内容で対応されます。

9) 受講生間のディスカッション

実技授業においては、受講生間でのコーチング活動やコーチング内容について再確認のためのやり取りをすることがあります。受講生間のディスカッションは禁止はしませんが、そのときは必ずマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを確保し、必要以上の大きな声では会話しなないようにするなどしてください。

10) 水分補給及び汗ふきタオル等

マイボトルなどで飲料を持参するなどしてください。学生同士での回し飲みは絶対にしないでください。汗ふき用のタオル等を持参して顔の汗を拭く場合は必ず持参したタオルを利用してください。

11) 遠隔授業受講希望者

対面授業開始後も遠隔授業を希望する場合は6月4日(木)16:00までに、教学部教務担当に申し出てください。遠隔授業での対応方法は教科によって異なるので教学部教務担当に尋ねてください。

なお、実技科目を遠隔授業で受講する場合は、原則として講義科目も遠隔授業を受講することになります。

12) 対面授業の開始後も遠隔で授業を受講する学生のうち、6月19日以降のクラブ活動に参加を希望する人は、クラブの指導者に相談してください